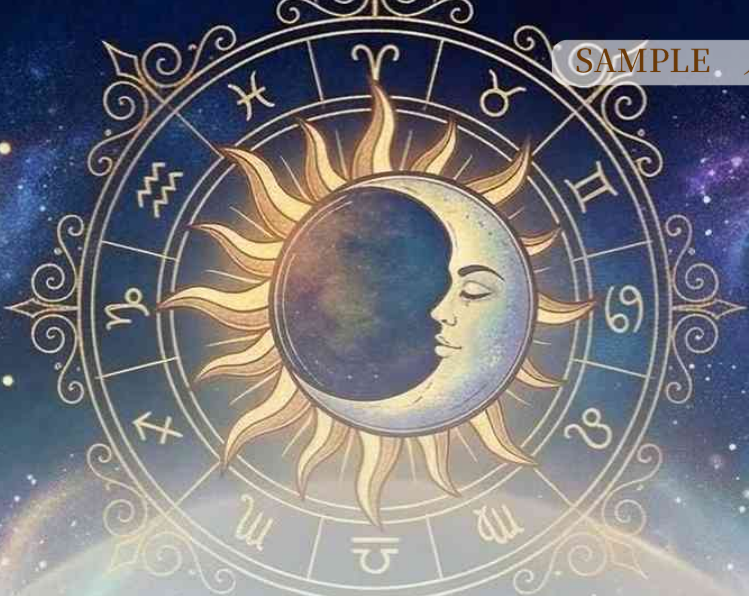




金運

鑑定書

琴音 様

2027年〇月〇日

占いの秘書



琴音さま、いらっしゃいませ。金運のご相談ですね。最近は予期せぬ出費が続き、家計の重みに心がすり減るような思いをされていることでしょう。現状を変えようと模索し、ご自宅という大切な基盤を見つめ直そうとされたその真摯な姿勢、しっかりと受け止めさせていただきました。

風の海を静かに見つめるように、今流れている運気の潮目を、一緒にゆっくりと紐解いてまいりましょう。

今回、金運という海図を広げてみましたが、琴音さまが抱える今の苦しさは、決してあなたという器の欠損ではありません。ただ、少しばかり運気の流れが澱み、停滞しているだけなのです。お金というものは水と同じで、溜め込むものではなく流れるもの。

滞れば淀み、循環すれば清らかに還るものです。まずはご自宅という船の、重しとなっている箇所を少しずつ手入れして軽くしていく。その丁寧な作業こそが、今の琴音さまに必要な道筋となるでしょう。

古くからの知恵である風水の観点から、ご自宅という空間を深く眺めてみます。今回、運気の鑑定結果として現れたのは、玄関が北東という方位に位置していることでした。この場所は古来より鬼門と呼ばれ、気が停滞し、乱れやすい性質を持っています。

家の中に富を引き入れるべき入り口が、少しばかり逆風を受けている状態かもしれません。しかし、これは決して嘆くべきこ

とではないのです。鬼門の気は、浄化を強く求めるエネルギーでもあります。この場所が本来の役割を果たせるよう、清らかに整えることで、逆に安定した大きな運気を呼び込む強い味方へと変わっていくのです。

まずはご自身の舟の帆を整え、新しい風向きを読み直す準備を、ここから始めていきましょう。

これからの未来、金運という海路を穏やかなものに変えていくために、意識の転換点となる三つの選択肢を提示します。これらを羅針盤としてお使いください。

一つ目は、生活習慣という船底の修繕です。金運を上げようと焦るあまり、無意識に消費を重ねてはいないでしょうか。まずは今の出費の流れを一度、澄んだ水を通すように「濾過」して、本当に必要なものだけを見極める時間を作ってくださいね。

二つ目は、空間の浄化という選択肢です。気が乱れやすい北東の玄関を、ただの通路としてではなく、清らかな風が通る場所へ変えていくこと。出入り口を常に明るく整え、清々しい気持ちで迎える準備をしておけば、新しい運気の潮目が必ずこちらの海域へ向かってくるでしょう。

三つ目は、停滞した気の再構築です。家という器の中で、澱んでいる場所を動かすのです。不要なものを整理し、気の通り道を作ることは、自分自身の心の中を整理することとも重なります。今ある空間に呼吸をさせることで、きっと金運という海も、穏やかな満ち潮を迎えるはずですよ。

以下は古来の象意に基づく開運の指針です。まず水回りに目を向けてください。ここは運気の「循環」を司る最も大切な場所です。水垢一つないほど丁寧に磨き上げること。それは滞った運気を押し流す、最善の浄化作業となります。

次に、西の方位。ここには黄色の小物を配してください。古来より黄色は大地の色であり、豊かな実りを象徴します。西という豊かさをもたらす方位にその色を置くことで、少しずつ金運の種が芽吹き、やがて大きな収穫へと繋がっていくでしょう。

焦らず、まずは小さな一歩から。自分を整え、住まいを整え、器を磨いていく。その先に、必ず道は開かれています。満ちるときは、ちゃんと来ますから。